

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な運営事業]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				コープみらいの福祉事業の中期計画に「利用者一人ひとりの暮らし・生き方にそって『自立を支援する』サービス提供をすることを掲げ、実践している。	適切に評価されているものと認める
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				2ヵ月に1回開催している常勤職員対象の研修で特徴的な利用者の個別サービスの統一化を図っている。	適切に評価されているものと認める
		3	運営者は、専門技術(アセスメント随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				スタッフの個別研修計画を一人ひとりの要望も踏まえて作成し学習の場を確保するとともに、ヘルパー定例会議等で学習している。県の定期巡回の研修に参加するとともに定期巡回を実施している事業者の事例報告会に参加、より専門技術が向上する計画となるよう努める。	適切に評価されているものと認める
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				看護師がヘルパーに対し同行訪問時、安全かつ的確なサービスが提供できるよう指導を強めた。	適切に評価されているものと認める
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				一体型事業所であるメリットを生かし、週に月1回定期巡回随時訪問介護看護の管理者、看護師、ケアマネジャーによる定例会議(以下、定例会議)のほか、日常的に利用者等の特性・状況の相互理解・認識共有をはかっている。	適切に評価されているものと認める
(3) 適切な組織体制の構築									
①	管理マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				利用者の状態に合わせた、人材配置と業務・シフトを工夫し、柔軟なサービスを提供することが出来ている。	適切に評価されているものと認める
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供時に適切に反映させている	○				介護・医療連携推進会議を6ヶ月に1回定期的に開催し、いただいた要望助言に従い、紹介された研修を実施するなど、サービス提供に反映させている。	適切に評価されているものと認める

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				タブレット端末を活用することで、サービス内容把握や利用者の状態を共有できる環境を整備している。	適切に評価されているものと認める
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービスの提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策災害時対応等)	○				ヘルパーハンドブックで安全確保、災害時の緊急対応の手順をまとめ、周知を図っている。また、定期的にAEDを使った救急救命講習を実施し、必要な際に使用できるよう研修している。	適切に評価されているものと認める
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている	○				利用者の全員と個人情報取り扱い同意書をとりかわし、個人情報にかかる資料は鍵付きの書庫で保管するとともに情報セキュリティ規程に基づき、情報漏えい防止の手立てと体制を確立している。	適切に評価されているものと認める
II 過程評価 (Process)									
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				定例会議で利用者の状態変化等を共有し、アセスメントに反映している。	適切に評価されているものと認める
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の両者における情報共有は行っているが、看護なしの利用者については、看護ありの利用者より細かいアセスメントが出来ていない。	適切に評価されているものと認める
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				計画が利用者の心身機能の維持回復につながるよう「生協の10の基本ケア」を学び実践に努め、地に足をつけることを意図したケアを志向するとともに医療と連携して散歩ができるまでに回復した事例も生まれている。	適切に評価されているものと認める
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				ヘルパーはサービス提供時に利用者の体調変化を日常的に観察し、責任者や看護師、医師に報告し必要に応じて計画とサービス変更につなげている。	適切に評価されているものと認める

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の身体状況の変化に応じて、柔軟にサービスの提供日時を設定し、予定になかったサービスは申し送り事項に記載するなど、関係者で共有している。	適切に評価されているものと認める
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			サービス提供に際し利用者の状況変化を把握して定例会議で共有、継続的にモニタリングして計画に反映するよう努めているが、看護なしのサービスにおいては、看護に入っていないという面からモニタリングが難しい。	適切に評価されているものと認める
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				介護職、看護職のそれぞれが専門性を生かして役割を分担し、効率的・効果的にサービスを提供している。	適切に評価されているものと認める
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				看護職が介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点で、必要な指導、助言を申し送り事項に記載して共有し、実行している	適切に評価されているものと認める
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービスの利用開始前に、契約書・重要事項説明書を使って説明後、同意いただき、書面を交付している。	適切に評価されているものと認める
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				作成した計画の目標及びその内容を、利用者等に説明し、共通の認識を得るようい	適切に評価されているものと認める
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について申し送り事項に記載するとともに、家族等へ適時・適切に報告・相談している	適切に評価されているものと認める

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報を毎日作成している申し送り事項に記載し、サービスの提供日時等を定例会議で検討して決めている。	適切に評価されているものと認める
		23	計画の目標のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				目標達成のためには、フォーマルサービスだけでは達成不可能であるため、コープの保険外サービスだけでなく、市内のインフォーマルサービスの提案も行っている。	適切に評価されているものと認める
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議には積極的に参加をすることで、多職種との情報提供に努めている。	適切に評価されているものと認める
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				在宅生活を継続させるために、フォーマルサービスだけでなく、インフォーマルサービスを提案し、多職種による検討を実施している。	適切に評価されているものと認める
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種により検討し情報を共有している。	適切に評価されているものと認める
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				県外での研修や医療機関が主催する研修会に参加をして、事例を報告するなど多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有している。	適切に評価されているものと認める

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、行われている	○				介護・医療連携推進会議の記録を事業所の掲示板に掲示とあわせ、平成29年度よりコープみらいのホームページに公表を開始している。	適切に評価されているものと認める
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				他職種協同研修会や下志津病院地域連携の会、医療機関が主催する研修会で毎回のように事例を報告するなど積極的に参加して広報周知に努めている。	適切に評価されているものと認める
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				印旛郡市介護医療連携推進会議や四街道市訪問介護事業者連絡会などに積極的に参加し、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容を理解するよう努めている。	適切に評価されているものと認める
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			コープみらいえに限定せず、可能な限り地域へ展開しており、問い合わせもあるが、サービス内容が一致しないということで利用につながらないケースが多い。	適切に評価されているものと認める
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	○				コープみらいとして四街道市生活支援体制作り推進会議に参加するとともに四街道西中B地区の第2層協議体づくりに積極的にかかわり、改善の提案を行っている。	四街道西中B地区の地区活動において、住民と共に地区課題を明らかにし、解決に向けて、また地域包括ケアシステムの構築に向けて協働いただいている。
III 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				利用者ごとの計画目標の達成に努め、サービスを導入することで本人の残存能力を引き出し、ADLの顕著な状態改善が実現する事例が増えつつある。	適切に評価されているものと認める
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービスを導入したことで、身体状態に合わせたサービス回数となり、在宅生活継続が可能となり、利用者本人・家族から安心感を得られている。	適切に評価されているものと認める